



實性

令和八年 第二号 春彼岸発行

春のお彼岸のご案内

お彼岸とは

お彼岸は、人の迷いや苦しみの元となる煩惱のない世界です。すなわち、極楽浄土をさします。

お彼岸は、「悟りの世界」を意味する言葉で、彼岸に到り完成成就するということです。この彼岸に到着するために、お彼岸期間一週間は、仏道修行をして、煩惱をなくすために、西方極楽浄土に思いをはせることです。

この一週間に、六波羅蜜ろくはらみつの行を修め、自身を見つめ、ご先祖様に感謝し、亡き人のためにお墓参り致しましょう。

六波羅蜜とは

布施 見返りを求めないボランティアの原点です

持戒じかい 慎んだ行動をする

忍辱にんじやく どんな辱めや災いをうけても受け止めて耐えること

精進 一生懸命努力して誠意をつくすこと

禅定ぜんじやう 常に冷静を保ち動揺しないこと

智慧 怒りや愚まどわせられずに物事を見極めること

彼岸会法要

三月二十日(金・祝日) お中日 十一時より

● 彼岸入り 三月 十七日(火)

● 彼岸お中日 三月二十日(金・祝)

● 彼岸明け 三月 二十三日(月)

お香の話し

私共が御本尊様の前に座りますと、いの一に唱えるお香に関するお経があります。

日常勤行式ともよばれ、毎日お勤めいたします。

お香は「仏様の使い」「仏様の口」でもあり、常に清らかにしておかねばなりません。

香偈こうげ（お香に関する偈文）

願が我ん身が浄しんじよう如に香よう炉ろ 願が我ん心が如しん智に慧よ火ちえか

念ねん念ねん焚ぼんしよう焼かいじよう戒こう定く香よう 供じつ養ぼう十さん方ぜい三ぶ世い仏

和訳
願わくは我が身浄きと香炉の如く
願わくは我が心智慧の火の如く
念念に戒定の香を焚きまつりて
十方三世の仏に供養したてまつる

現代語訳
願わくは私の身が香炉のように清らかになりますように
願わくは私の心智慧の火のように清らかになりますように
念念（心より）に戒香（教えの香）定香（静けさの香）を焚いて
過去・現在・未来のありとあらゆる仏様にご供養いたします

香炉

仏前の具足に、「三具足」「五具足」すなわち灯と華と香ですが、中心となるものが香炉です。香炉にはは数多くあり、銘品と言われるものもたくさんございます。手で持つ柄香炉、着物の袖に入れる袖香炉というのがあります。



香炉



香炉



香炉



香炉



香炉



香炉



柄香炉



柄香炉



柄香炉



三具足



五具足



袖香炉

お香

お香は香木を焚くのが本来ですが、香木では短時間で香らなくなりますが、そこで、香木を粉末にして練り固めたのがお線香です。お香を調合し独特の香が作られたりもしています。

また、自分で作る練香というのもあります。お線香は、二時間、二時間、三時間と長く香るものもあります。



お線香立て



お線香立て



練香

沈香じんこうという「香木こうぼく」は、その名の通り、水に浮かべると沈んでしまう（かたい）油分の多い香木で、近頃では、大変高価なものとなっております。

この香木の沈香で作られたお線香もあります。私共がご供養に参るときには、自分の気に入ったお香を持参しお供えします。

そもそもお香の種類は、「お線香」「香木（沈香・白檀・体を浄める塗香）」以外に伽羅きゃらという最上位の

ものもあります。シルクロードが「絹の道」というのは最も有名ですが、「茶の道」というのもあり、東南アジア→中国→日本へ、また、東南アジア→中東→ヨーロッパ→イギリスへと、また、お香は「伽羅の道」といい、東南アジア→中国→日本へと、また、西方では東南アジア→インド→中東→ヨーロッパへの道もあるのです。

お香は仏教のみで用いられるのではなく、イスラム教、キリスト教でも清めのために使われています。数年前、正倉院の有名な国宝（蘭奢待らんじやたい）が大本山増上寺様において、香道・志野流のお家元が献香され、幽玄の世界へいざなわれました。

お寺では、香炉を置き、お香を焚いて皆様をお迎えしています。また匂い袋をお飾りして香炉の代わりとしています。

総じて、お香は、お供え、香りのご馳走、香りでのお迎えすることです。



線香



匂い袋

香合

香木、練香を留める器が香合です。木製あるいは塗り物、唐木、堆朱ついでしゅ、堆黒ついでくろくの香合、また、焼き物、金属等があり香合が珍重されています。



香合



香合



香合



香合



香合



香合

法然上人涅槃図

一月二十五日は宗祖法然上人の御命日です。各総本山では四月に忌日法要厳修されます。この法要を「御忌」（ぎよき）と読みます。法然上人のみに許されたよみかたです。

左図の「法然上人涅槃図」は、法然上人の入滅の時が描かれています。

大勢の弟子にかこまれ、合掌なされ、「南無阿弥陀仏」のお念仏を弟子と共に唱えられながら念仏往生なされました。

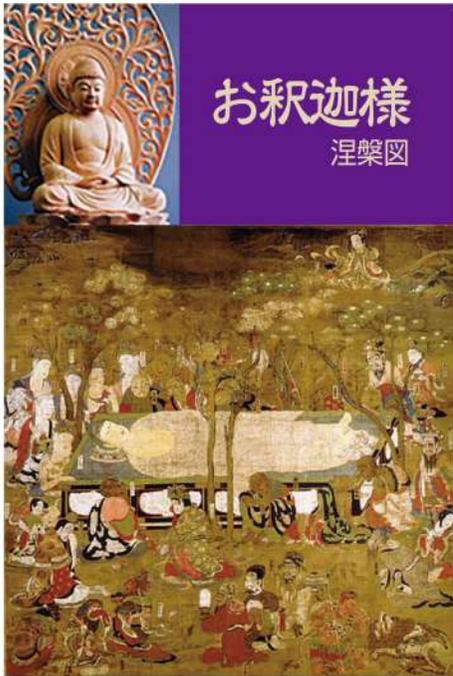


涅槃会

二月十五日は、お釈迦様の亡くなられたご命日です。

左図の涅槃図は、お釈迦様の入滅のご様子が描かれています。

お釈迦様は、伝道の旅の途中、病にたおられ、自ら死期を悟られ、沐浴をされ、沙羅双樹の林の中に横たわれ、最後の説法をなされました。頭を北に、顔を西に向け、十大弟子、老若男女、鳥獸達さえも嘆き悲しむ様子、また、忉利天とうりてんより駆けつけられたお釈迦様の母君、摩耶夫人の姿も描かれています。



修正会(しゅしょうえ) 報告

令和八年度「修正会」は、昨年度に続き、住職・副住職・寺族のみにて厳修致しました。

「御札」「お守り」「絵馬」等を祈願致しました。



花まつり

四月八日(水)は、お釈迦様がお生まれになられた誕生日です。

「灌仏会」といいます。お釈迦様の誕生をお祝いし、誕生仏に甘茶をかけお祝いたしましょう。

お彼岸より本堂前(御拝)に花見堂が出ております。どうぞお参り下さい。

(お参りいただいた方に甘茶ティーパックを差し上げています)

四月八日は
お釈迦さまの
誕生日



※年回法要

当寺では、皆様とご一緒にお経を唱え(四十九日忌法要を除く)、亡き人の為に真心をささげています。お経の本は、全檀家さまにお届けしております。にもかかわらずコピーしてとは全く承知いたしかねます。

4月からプラスチック分別回収がはじまります。
プラスチック製の容器や包装、プラ表示のされている
レジ袋やカップ、パック、トレイなどの容器が含まれ
ます。

プラスチック用ごみ箱に、入れて下さい。

ペットボトルの蓋とラベルはプラスチック製品
です。はずして捨ててください。

後からの分別はとて大変ですので、
ご協力お願いいたします。

プラマークのあるゴミは「資源プラスチック」



◆ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くとも十日前迄
にお申し込み下さい。お電話よりファックスの方が正確で
すのでご利用下さい。

ファックス番号 03(3883)3227

振替口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七-十八
電話 03(3883)8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jisyoji.com>

